

平成 30 年度 高等教育研究部活動報告

*アンダーラインは活動報告を示す。

1. 出版・広報活動

【1】 ニュースレターの編集発行

- ・ 114 号：2019 年 4 月 30 日
- ・ 115 号：2019 年 8 月 31 日
- ・ 116 号：2019 年 12 月 31 日

【2】 高等教育ジャーナル～高等教育と生涯学習～

- ・ 第 27 号：2020 年 3 月 31 日発行予定

2. 研究員等の活動

【研究員】

- ・ 布施泉（情報基盤センター・教授）
研究テーマ：大学の一般情報教育における情報の科学的理解のための学習教材についての研究
ジャーナル 27 号に報告掲載予定。
- ・ 七戸 俊明（医学研究科消化器外科）
研究テーマ：医学部新 A0 入試の研究
医学部医学科 A0 入試において新形式の面接を採用

3. 研究活動

【1】 教育支援

（1） FD, SD 関連（多くの場合高等教育研修センターと協力）

- ・ 平成 31 年度全学教育科目に係る T A 研修会 4 月 3 日（水）、4 月 4 日（木）、4 月 5 日（金）：3 日間のべ修了者数 274 名 ※ビデオ受講を含まない
- ・ 第 38 回北海道大学教育ワークショップ 5 月 17 日（金）～5 月 18 日（土）：17 名参加
- ・ IDE 大学セミナー 8 月 30 日（金）：71 名参加
- ・ 第 39 回北海道大学教育ワークショップ 10 月 18 日（金）～10 月 19 日（土）：20 名参加
- ・ 玉川大学初年次教育に関する研修会「北大初年次教育の成果と展望」 11 月 1 日：10 名参加
- ・ スタンフォード大学 d. School のデザイン・ラーニング指導者研修に参加 1 月 10～14 日
- ・ 令和元年度第 2 回北海道大学 T F 研修会 2 月 27 日（木）（中止）
- ・ 千歳科学技術大学 FD「北海道大学における教育の質保証—学習支援と IR について—」：3 月 4 日（中止）
- ・ 藤女子大学 FD「LMS 運用の現状と課題」：3 月 9 日（中止）

（2） 入学者選抜関連

1) コンピテンシーに基づく新入試の開発

- ・ コンピテンシー設計と過去問分析
- ・ コンピテンシーテストサンプル問題の開発
- ・ コンピテンシーテスト試行調査
- ・ 初等中等教育における知識データベースの構築
- ・ Web アドミッションシステムの導入と運用
- ・ ポートフォリオシステムの設計と開発
- ・ コンピテンシーに基づく MMI の開発と導入
- ・ コンピテンシーと高等学校の諸活動に関する調査
- ・ 北大入試改革フォーラム開催（6 月 18 日）

2) 国際総合入試を含めたグローバル人材獲得のための新しい入試に関する研究

- ・ 国際総合入試会議および調査分析

3) 入試広報活動に関する AC 支援とそれらに関する調査研究

4-1 進路講演

- ・高等学校等
旭川北高校（4月10日），帯広柏葉（11月7日）
- ・予備校
河合塾札幌校（11月），駿台予備校札幌校（11月），代々木ゼミナール札幌校（11月）
- 4-2 進路相談員
 - ・朝日新聞社主催全国国公立・有名私大相談会 2019
東京（7月7日），大阪（7月13日），名古屋（7月27日），横浜（7月28日）
 - ・Z会主催 2019 北大・東北大・筑波大合同説明会・相談会
新潟（7月7日）
 - ・Z会主催 2019 難関大学合同説明会・相談会
広島（7月15日），金沢（7月21日），福岡（7月28日）
 - ・東京大学主催主要大学説明会 2019
名古屋（8月18日），広島（8月31日）
 - ・北大主催の説明会等
入試説明会（7月18日），オープンキャンパス（8月4日），進学相談会 in 東京（8月24日），進学相談会 in 大阪（10月6日）
- 4-3 高校訪問
筑波大学附属坂戸高校（6月），ぐんま国際アカデミー中高等部（7月）
- 5) 高大連携授業聴講型公開講座
- 5-1 高校訪問
札幌旭丘高校（6月21日），札幌北高校（6月21日），札幌西高校（6月19日），札幌南高校（6月17日），藤女子高校（6月17日），札幌開成中等教育学校（6月21日）
- 5-2 オリエンテーション
第1回（9月20日），第2回（9月25日）
- 5-3 講座（9月～2月）
参加校 6校（旭丘，北，西，南，藤女子，開成），参加者 48名，開講講座 25講座
- 5-4 修了式
- 5-5 報告書の発行
- 6) 学外の入試関連委員
 - ・ 大学入試センター「全国大学入学者選抜研究連絡協議会幹事・企画委員」
 - ・ 北海道教育員会主催「公立高等学校入学者選抜改善の検討に係る懇談会」座長
 - ・ 北海道高等学校「教科等の本質的な学びを踏まえた主体的・対話的で深い学び（アクティブ・ラーニング）の視点からの学習指導方法の改善の推進のための実践研究（SCRUM）」委員
- 7) 研究発表
 - ・「高等学校による教科・諸活動におけるコンピテンシー評価活用の可能性ー『北大フロンティア入試（仮称）』への導入の試みからー」（5月25日，全国大学入学者選抜研究連絡協議会）
 - ・「フロンティア人材評価システムー主体性を含む学力3要素のコンピテンシーに基づく多面的・総合的評価ー」（5月25日，全国大学入学者選抜研究連絡協議会）
- 8) SSH および SGH 委員等
 - ・ SSH
山形興譲館 SSH 運営指導委員会（5月22日，2月18日），立命館 SSH 運営指導委員会（5月25日，12月12日，3月16日（予定）），佐倉高校 SSH 運営指導委員会（7月8日，3月20日），釧路湖陵 SSH 運営指導委員会（7月3日，2月22日）
- 9) その他
- 9-1 講演
 - ・朝日新聞社「あなたの将来・日本の未来を考える」（11月4日）
 - ・第28回先端科学移動大学 釧路北陽高校（11月15日），釧路生涯学習センター（11月16日）
 - ・円山アカデミー「世界の入試改革と北海道大学」（7月28日）

- ・北海道立校長協会「コンピテンス基盤型教育とは何か」(9月6日)
- ・山形興譲館評価に関する教員研修(8月27日)
- ・旭川大学・旭川大学短期大学部合同FD/SD研修会「学ぶ意欲を引き出すには何が必要か」(1月25日)
- ・北海道保健医療大学FD/SD研修会「学ぶ意欲を引き出すに花には必要か」(1月15日)

9-2 高等学校等委員

- ・札幌南高等学校評議員会(6月19日, 2月20日)

9-3 学内FD協力等

- ・北大生態環境TF会議(8回)
- ・平成31年(令和元年)度北海道大学入学試験調査報告書(ラーサポと合同)
- ・平成31年(令和元年)度北海道大学新入生アンケート調査報告書(ラーサポと合同)

(3) 大学教育と人材育成のあり方・効果に関する研究と実践

1) 国内外におけるインターンシップの充実に向けた研究と実践

全学インターンシップ(全学教育科目「インターンシップA(国内2019)」「インターンシップB(国内2019)」の実施

- ・「インターンシップではじめる!!就活準備ガイダンス」:4月18日(木)
- ・全学インターンシップ説明会:5月9日(木)、10日(金)
- ・学生と企業等のマッチング:派遣学生64名(新渡戸カレッジ生を含む)
- ・インターンシッププレ研修の実施:5月22日(水)、25日(土)、5月29日(水)、7月27日(水)
- ・事前研修:7月2日(火)、3日(水)、9日(火)、10日(水)
- ・派遣学生個人面談(1人約15分):7月17日(水)~31日(水)
- ・インターンシップ成果発表共有会:10月25日(金)
- ・終了後のアンケート調査結果:将来のキャリア設計に「大いに役立つ」及び「役立つ」が98%、全体の満足度は「大いに満足」及び「満足」が965%

2) 経済同友会と連携した低学年・長期インターンシップの実施

- ・2016年度より経済同友会と連携した低学年・長期インターンシップを1)の全学インターンシップの特別プログラムとして実施しているが、2019年度は、野村證券、三井住友銀行、第一生命保険、日本航空、みずほ証券、全日空、JR東日本、三井不動産、三菱ケミカル、デュボン、コニカミノルタ各1名の計11社、11名の学生(1年生1名、2年生10名)を派遣。
- ・5月参加希望学生の募集(50名の応募)
- ・事前研修、個人面談は1)と合同で実施
- ・11月19日(火)に成果報告会を開催(派遣学生、企業、次年度派遣希望学生等の参加)
- ・2019年度から「経済同友会インターンシップ推進協会」が設立され、本学も同協会の正会員として参画。

3) キャリア教育科目(キャリアデザイン、大学と社会)の充実

①特別講義「大学と社会」の実施

- ・本学の卒業生12名による講義を実施
- ・2017年度から、新渡戸カレッジと共同実施し、12名の講師のうち7名の新渡戸カレッジフェロー及びメンターに講義をいただいた。

②一般教育演習「キャリアデザイン」の実施

4) 学士及び大学院の各課程において修得すべき多様な能力の検討

- ・文部科学省令和元年度委託事業「職業実践専門課程等を通じた専修学校の質保証・向上の推進」事業として採択された「分野別学修成果可視化と国際的分野間横断体系化による職業実践専門課程の質保証・向上」(九州大学受託)に参画し、グローバルな経済・社会環境の中で活躍できる専門的人材の養成のためのプログラム開発やその国際的通用性を高めるための基本的枠組みの開発的研究を行った。

(4) 地域社会と連携する大学づくり

1) 北海道大学公開講座(全学企画)の企画運営及びその将来像の調査研究

- ・令和元年度北海道大学公開講座(全学企画)「いま感じる、生かす、見つめ直す スポーツの力」(7月1日～7月22日に計8回開催, 94名が受講)の実施と, 令和2年度同講座「備える」(令和2年6月11日～7月23日に計8回開催予定)の企画
- ・北海道大学の中期目標等に即した公開講座(全学企画)の企画運営方法に関する検討, 公開講座と連携した全学教育授業(一般教育演習「聞く力・話す力のトレーニング」)の開発と実践

2) 地域住民の生涯学習を支援するための学外諸機関との連携の推進

- ・地域住民による生涯学習への支援として, 北海道生涯学習審議会委員やさっぽろ市民カレッジ講師, 環境省 EPO 北海道運営協議会委員などを務めた。

【2】 教育評価(総合 IR 室教学 IR 部門への支援)

- ・学生調査アンケートの実施(英訳含む), 分析, 学部への情報提供
- ・卒業生調査アンケートの実施, 分析, 学部への情報提供
- ・北海道大学・帯広畜産大学共同 獣医学課程卒業生アンケートの分析, 獣医学部への情報提供
- ・大学院生調査実施(英訳含む), 分析, 大学院・研究科への情報提供(予定)
- ・大学 IR コンソーシアム 第2回定時社員総会・講演会 全体データ解析結果の情報提供並びに前年度(試行)共通卒業生調査分析結果の報告(6月24日)
- ・大学 IR コンソーシアム会員校向けワークショップ 運営(東京都 9月4日)
- ・大学 IR コンソーシアム会員校向け新システム説明会 運営(東京都 9月5日)
- ・大学 IR コンソーシアム・大正大学・大学 IR 総研 合同シンポジウム・勉強会「大学の教育活動の成果を検証する～学修成果は「誰のため」「何のため」に可視化するのか～」運営(東京都 9月5-6日)
- ・大学 IR コンソーシアム・大正大学・大学 IR 総研 合同シンポジウム一学修成果の可視化とその活用ー(東京都 9月5日)
- ・大学 IR コンソーシアム 第13回 EMIR 勉強会ー数値による成果主義と IR の間(はざま)ー(東京都 9月6日)
- ・大学 IR コンソーシアム臨時社員総会 出席(神戸市 11月27日)
- ・大学 IR コンソーシアム IR システムデータ登録講習会 運営(神戸市 11月27日)
- ・大学 IR コンソーシアム IR システムデータ登録講習会 運営(東京都 12月4日)
- ・授業アンケートWEB化支援
- ・全学教育授業評価アンケートの分析, 報告(ホームページで公開)
- ・ファクトブック編集への参加
- ・アセスメント・ポリシーの研究
- ・大学 IR コンソーシアム会員向け平成30年度共通卒業生調査(試行)分析並びに会員向け公開
- ・大学 IR コンソーシアム会員向け平成31年度共通卒業生調査(試行)企画立案実施
- ・大学 IR コンソーシアム新システム対応データチェックアプリケーションの開発
- ・大学 IR コンソーシアム暗号化アプリケーション ver.2 の開発

※ジャーナル27号に「日本における《カレッジ・インパクト理論》の有効性の検証」について報告掲載予定。

4. カリキュラム開発

【1】 全学教育

教養科目4コマ, 総合科目及び一般教育演習12コマ開講

【2】 大学院教育

理学院, 教育学院, 保健科学院, 環境科学院で開講

【3】 大学院共通授業科目

PFF セミナー, PFF 授業

5. 学協会等の活動支援

- 【1】 IDE 大学協会北海道支部の活動の支援（研究集会の企画等）
- 【2】 アドミッションセンターの支援
- 【3】 北海道地区 FD・SD 推進協議会の支援（総会の企画支援）
- 【4】 大学教育学会での課題研究（アクティブラーニング）、ワーキング（STEM 教育）支援
 - ・ A New Strategy for STEM Learning in a Changing Society: Focusing on the Undergraduate Program
 - World Education Research Association 2019: Focal Meeting (Tokyo, 2019.8.6)

6. スーパーグローバル等への対応

- 【1】 高等教育研修センターの支援
- 【2】 IR 活動によるサポート（カレッジやスクールの評価）、総合 IR 室の企画支援
- 【3】 TF 研修ならびに教育力養成講座(PFF)による TF 養成
- 【4】 サテライト・スクールへの参加
- 【5】 国際入試導入への支援
- 【6】 未来型人材育成選抜機構（仮称）の支援

7. 外部資金の獲得

- 【1】 平成 28 年度機能強化経費「機能強化促進分」（教育研究活動）、「未来型人材育成選抜試験の開発」（担当 鈴木 誠）：平成 31 年（令和元年）度予算 3,346 万円